

温泉分析書
(鉱泉分析試験による分析成績) 佐環検温第 2022-00022-01 号

令和 5 年 3 月 27 日

唐津市長

様

〒840-0033 佐賀県佐賀市光一丁目2番2号
一般財団法人 佐賀県環境科学検査協会
理事長 木原 泰文
TEL 0952-22-1651 FAX 0952-22-1655
温泉分析登録機関 佐賀県登録41年00002号

依頼されました試料の分析結果は、下記のとおりです。

1. 申請者	住所	佐賀県唐津市肥前町入野甲1703番地					
	氏名	唐津市長					
2. 源泉	名称	高串源泉1号					
	湧出地	佐賀県唐津市肥前町田野甲1339番地4					
3. 湧出地における調査及び試験成績書							
調査及び試験者		一般財団法人 佐賀県環境科学検査協会			柿本 直仁		
調査及び試験年月日		令和 5 年 2 月 24 日 (天候)			曇		
泉温		30.6℃ (調査時の気温)			11.9℃		
*湧出量		50 t/日			揚水方法 動力揚湯		
知覚試験		無色 澄明 無味 無臭			pH値		9.33
ラドン (Rn)		—					
4. 試験室における試験成績							
試験者		一般財団法人 佐賀県環境科学検査協会			栗山 裕史		
知覚試験		無色 澄明 無味 無臭			pH値		9.10 密度 0.9990 (20.0℃)
分析終了の年月日		令和 5 年 3 月 27 日			蒸発残留物		0.7668 g/kg (110℃)
5. 試料1kg中の成分・分量及び組成							
陽イオン				陰イオン			
成分名	ミリグラム(mg)	ミリバール(mval)	ミリバール(mval%)	成分名	ミリグラム(mg)	ミリバール(mval)	ミリバール(mval%)
水素イオン(H ⁺)	—	—	—	ふっ素イオン(F ⁻)	4.4	0.23	1.62
リチウムイオン(Li ⁺)	0.3	0.04	0.31	塩素イオン(Cl ⁻)	33.3	0.94	6.58
ナトリウムイオン(Na ⁺)	318.9	13.87	99.14	臭素イオン(Br ⁻)	0.1	0.00	0.01
カリウムイオン(K ⁺)	0.7	0.02	0.13	よう素イオン(I ⁻)	0.0	0.00	0.00
アンモニウムイオン(NH ₄ ⁺)	0.0	0.00	0.00	亜硝酸イオン(NO ₂ ⁻)	0.0	0.00	0.00
マグネシウムイオン(Mg ²⁺)	0.3	0.02	0.18	硝酸イオン(NO ₃ ⁻)	0.6	0.01	0.07
カルシウムイオン(Ca ²⁺)	0.7	0.03	0.25	水酸イオン(OH ⁻)	0.0	0.00	0.00
ストロンチウムイオン(Sr ²⁺)	0.0	0.00	0.00	硫化水素イオン(HS ⁻)	—	—	—
バリウムイオン(Ba ²⁺)	0.0	0.00	0.00	硫酸イオン(SO ₄ ²⁻)	0.6	0.01	0.09
アルミニウムイオン(Al ³⁺)	0.0	0.00	0.00	りん酸水素イオン(HPO ₄ ²⁻)	0.2	0.00	0.03
マンガンイオン(Mn ²⁺)	0.0	0.00	0.00	炭酸水素イオン(HCO ₃ ⁻)	656.9	10.77	75.43
総鉄イオン	0.0	0.00	0.00	炭酸イオン(CO ₃ ²⁻)	65.5	2.18	15.29
銅イオン(Cu ²⁺)	0.0	0.00	0.00	メタけい酸イオン(HSiO ₃ ⁻)	—	—	—
亜鉛イオン(Zn ²⁺)	0.0	0.00	0.00	ほう酸イオン(BO ₂ ⁻)	5.4	0.13	0.88
—	—	—	—	チオ硫酸イオン(S ₂ O ₃ ²⁻)	0.0	0.00	0.00
—	—	—	—	メタ亜ひ酸イオン(AsO ₂ ⁻)	0.0	0.00	0.00
陽イオン合計	320.9	13.99	100.01	陰イオン合計	767.0	14.27	100.00
遊離成分							
成分名	ミリグラム(mg)	ミリモル(mmol)	成分名	ミリグラム(mg)	ミリモル(mmol)		
メタけい酸(H ₂ SiO ₃)	13.7	0.18	遊離二酸化炭素(CO ₂) (遊離炭酸)	0.0	0.00		
メタほう酸(H ₂ BO ₂)	—	—	遊離硫化水素(H ₂ S)	—	—		
メタ亜ひ酸(HAsO ₂)	—	—	—	—	—		
非遊離成分合計	13.7	0.18	溶存ガス成分合計	0.0	0.00		
溶存物質 (ガス性のものを除く)	1.102g/kg			成分総合計	1.102g/kg		
その他微量物質	総ひ素 (T-As) 検出せず			総水銀 (T-Hg) 検出せず			
	鉛 (Pb) 検出せず			総クロム (T-Cr) 検出せず			
				カドミウム (Cd) 検出せず			
6. 泉質	ナトリウム-炭酸水素塩温泉 (低張性 アルカリ性 低温泉) (旧泉質名: 純重曹泉)						
7. 禁忌症・適応症等	温泉分析書別表に記載						

* 湧出状況については、肥前市民センター水田様から聴取したものを記載する。

温泉分析書 別表(浴用) (注)

佐環検温第 2022-00022-01 号

源泉名	高串源泉 1 号
湧水地	佐賀県唐津市肥前町田野甲1339番地4
源泉分析申請者	唐津市長
泉質	ナトリウム-炭酸水素塩温泉 (低張性 アルカリ性 低温泉) (旧泉質名: 純重曹泉)

分析結果による療養泉に基づく禁忌症・適応症等は環境省自然環境局長通知 (平成26年7月1日) 環自総発第1407012号によれば次のとおりである。

【浴用の禁忌症】

一般的禁忌症	病気の活動期 (特に熱があるとき)、活動性の結核、進行した悪性腫瘍又は高度の貧血など身体衰弱の著しい場合、少し動くと息苦しくなるような重い心臓又は肺の病気、むくみのあるような重い腎臓の病気、消化管出血、目に見える出血があるとき、慢性の病気の急性増悪期。
泉質別禁忌症	

【浴用の適応症】

一般的適応症	筋肉若しくは関節の慢性的な痛み又はこわばり (関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、神経痛、五十肩、打撲、捻挫などの慢性期)、運動麻痺における筋肉のこわばり、冷え性、末梢循環障害、胃腸機能の低下 (胃がもたれる、腸にガスがたまるなど)、軽症高血圧、耐糖能異常 (糖尿病)、軽い高コレステロール血症、軽い喘息又は肺気腫、痔の痛み、自律神経不安定症、ストレスによる諸症状 (睡眠障害、うつ状態など)、病後回復期、疲労回復、健康増進。
泉質別適応症	きりきず、末梢循環障害、冷え性、皮膚乾燥症。

【浴用の方法・注意】

温泉の浴用は、以下の事項を守って行う必要がある。

入浴前の注意	(ア) 食事の直前、直後及び飲酒後の入浴は避けること。酩酊状態での入浴は特に避けること。 (イ) 過度の疲労時には身体を休めること。 (ウ) 運動後30分程度の間は身体を休めること。 (エ) 高齢者、子供及び身体の不自由な人は、1人での入浴は避けることが望ましいこと。 (オ) 浴槽に入る前に、手足から掛け湯をして温度に慣らすとともに、身体を洗い流すこと。 (カ) 入浴時、特に起床直後の入浴時などは脱水症状等にならないよう、あらかじめコップ一杯程度の水分を補給しておくこと。
入浴方法	(ア) 入浴温度 高齢者、高血圧症若しくは心臓病の人又は脳卒中を経験した人は、42℃以上の高温浴は避けること。 (イ) 入浴形態 心肺機能の低下している人は、全身浴よりも半身浴又は部分浴が望ましいこと。 (ウ) 入浴回数 入浴開始後数日間は、1日当たり1～2回とし、慣れてきたら2～3回まで増やしてもよいこと。 (エ) 入浴時間 入浴温度により異なるが、1回当たり、初めは3～10分程度とし、慣れてきたら15～20分程度まで延長してもよいこと。
入浴中の注意	(ア) 運動浴を除き、一般に手足を軽く動かす程度にして静かに入浴すること。 (イ) 浴槽から出る時は、立ちくらみを起こさないようにゆっくり出ること。 (ウ) めまいが生じ、又は気分が不良となった時は、近くの人に助けを求めつつ、浴槽から頭を低い位置に保ってゆっくり出て、横になって回復を待つこと。
入浴後の注意	(ア) 身体に付着した温泉成分を温湯で洗い流さず、タオルで水分を拭き取り、着衣の上、保温及び30分程度の安静を心がけること (ただし、肌の弱い人は、刺激の強い泉質 (例えば酸性泉や硫黄泉等) や必要に応じて塩素消毒等が行われている場合には、温泉成分等を温湯で洗い流した方がよいこと)。 (イ) 脱水症状等を避けるため、コップ一杯程度の水分を補給すること。
湯あたり	温泉療養開始後おおむね3日～1週間前後に、気分不快、不眠若しくは消化器症状等の湯あたり症状又は皮膚炎などが現れることがある。このような状態が現れている間は、入浴を中止するか、又は回数を減らし、このような状態からの回復を待つこと。
その他	浴槽水の清潔を保つため、浴槽にタオルは入れないこと。

(注) この別表は、温泉法第18条による掲示に必要な参考資料となるものである。

温泉分析書

(鉱泉分析試験による分析成績) 佐環検温第 2022-00024-01 号

令和 5 年 3 月 27 日

唐津市長

様

〒840-0033 佐賀県佐賀市光一町1番2号
一般財団法人 佐賀県環境科学検査協会
理事長 木原 孝文
TEL 0952-22-1651 FAX 0952-22-1655
温泉分析登録機関 佐賀県登録41第0002号

依頼されました試料の分析結果は、下記のとおりです。

1. 申請者	住 所	唐津市肥前町入野甲1703番地						
	氏 名	唐津市長						
2. 源泉	名 称	高串源泉 2 号						
	湧出地	佐賀県唐津市肥前町田野甲1287番地10						
3. 湧出地における調査及び試験成績書								
調査及び試験者		一般財団法人 佐賀県環境科学検査協会				柿本 直仁		
調査及び試験年月日		令和 5 年 2 月 24 日 (天候)				曇		
泉温		30.1℃ (調査時の気温)				14.5℃		
*湧出量		40 t/日				揚水方法 動力揚湯		
知覚試験		無色澄明 無味 微硫化水素臭				pH値	8.56	
ラドン (Rn)		—						
4. 試験室における試験成績								
試験者		一般財団法人 佐賀県環境科学検査協会				栗山 裕史		
知覚試験		無色澄明 無味 微硫化水素臭				pH値	8.47	密度 0.9997 (20.0℃)
分析終了の年月日		令和 5 年 3 月 27 日				蒸発残留物	1.442 g/kg (110℃)	
5. 試料1kg中の成分・分量及び組成								
陽イオン				陰イオン				
成分名	ミリグラム(mg)	ミリバール(mval)	ミリバール(mval%)	成分名	ミリグラム(mg)	ミリバール(mval)	ミリバール(mval%)	
水素イオン(H ⁺)	—	—	—	ふッ素イオン(F ⁻)	9.5	0.50	2.08	
リチウムイオン(Li ⁺)	0.3	0.04	0.19	塩素イオン(Cl ⁻)	314.0	8.86	36.82	
ナトリウムイオン(Na ⁺)	524.0	22.79	98.15	臭素イオン(Br ⁻)	0.8	0.01	0.04	
カリウムイオン(K ⁺)	2.8	0.07	0.31	よう素イオン(I ⁻)	0.0	0.00	0.00	
アンモニウムイオン(NH ₄ ⁺)	0.0	0.00	0.00	亜硝酸イオン(NO ₂ ⁻)	0.0	0.00	0.00	
マグネシウムイオン(Mg ²⁺)	0.3	0.02	0.11	硝酸イオン(NO ₃ ⁻)	0.0	0.00	0.00	
カルシウムイオン(Ca ²⁺)	5.8	0.29	1.25	水酸イオン(OH ⁻)	0.0	0.00	0.00	
ストロンチウムイオン(Sr ²⁺)	0.0	0.00	0.00	硫化水素イオン(HS ⁻)	—	—	—	
バリウムイオン(Ba ²⁺)	0.0	0.00	0.00	硫酸イオン(SO ₄ ²⁻)	114.1	2.38	9.88	
アルミニウムイオン(Al ³⁺)	0.0	0.00	0.00	りん酸水素イオン(HPO ₄ ²⁻)	0.0	0.00	0.00	
マンガンイオン(Mn ²⁺)	0.0	0.00	0.00	炭酸水素イオン(HCO ₃ ⁻)	716.9	11.75	48.84	
総鉄イオン	0.0	0.00	0.00	炭酸イオン(CO ₃ ²⁻)	16.8	0.56	2.33	
銅イオン(Cu ²⁺)	0.0	0.00	0.00	メタけい酸イオン(HSiO ₃ ⁻)	—	—	—	
亜鉛イオン(Zn ²⁺)	0.0	0.00	0.00	ほう酸イオン(BO ₂ ⁻)	—	—	—	
—	—	—	—	チオ硫酸イオン(S ₂ O ₃ ²⁻)	0.2	0.00	0.01	
—	—	—	—	メタ亜ひ酸イオン(AsO ₂ ⁻)	—	—	—	
陽イオン合計	533.2	23.22	100.01	陰イオン合計	1172.3	24.06	100.00	
遊離成分								
成分名	ミリグラム(mg)	ミリモル(mmol)	成分名	ミリグラム(mg)	ミリモル(mmol)			
メタけい酸(H ₂ SiO ₃)	15.8	0.20	遊離二酸化炭素(CO ₂) (遊離炭酸)	7.9	0.18			
メタほう酸(HBO ₂)	7.1	0.16	遊離硫化水素(H ₂ S)	—	—			
メタ亜ひ酸(HAsO ₂)	0.0	0.00	—	—	—			
非解離成分合計	22.9	0.36	溶存ガス成分合計	7.9	0.18			
溶存物質 (ガス性のものを除く)			1.728g/kg	成分総合計 1.736g/kg				
その他微量物質								
総ひ素 (T-As)		0.007 mg/kg	総水銀 (T-Hg)		検出せず			
鉛 (Pb)		検出せず	総クロム (T-Cr)		検出せず			
			カドミウム (Cd)		検出せず			
6. 泉質	ナトリウム-炭酸水素塩・塩化物温泉 (低張性 アルカリ性 低温泉) (旧泉質名: 含食塩-重曹泉)							
7. 禁忌症・適応症等	温泉分析書別表に記載							

* 湧出状況については、肥前市民センター水田様から聴取したものを記載する。

温泉分析書 別表(浴用) (注)

佐環検温第 2022-00024-01 号

源泉名	高串源泉 2 号
湧水地	佐賀県唐津市肥前町田野甲1287番地10
源泉分析申請者	唐津市長
泉質	ナトリウム-炭酸水素塩・塩化物温泉（低張性 アルカリ性 低温泉）（旧泉質名：含食塩-重曹泉）

分析結果による療養泉に基づく禁忌症・適応症等は環境省自然環境局長通知（平成26年7月1日）環自総発第1407012号によれば次のとおりである。

【浴用の禁忌症】

一般的禁忌症	病気の活動期（特に熱があるとき）、活動性の結核、進行した悪性腫瘍又は高度の貧血など身体衰弱の著しい場合、少し動くと息苦しくなるような重い心臓又は肺の病気、むくみのあるような重い腎臓の病気、消化管出血、目に見える出血があるとき、慢性の病気の急性増悪期。
泉質別禁忌症	

【浴用の適応症】

一般的適応症	筋肉若しくは関節の慢性的な痛み又はこわばり（関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、神経痛、五十肩、打撲、捻挫などの慢性期）、運動麻痺における筋肉のこわばり、冷え性、末梢循環障害、胃腸機能の低下（胃がもたれる、腸にガスがたまるなど）、軽症高血圧、耐糖能異常（糖尿病）、軽い高コレステロール血症、軽い喘息又は肺気腫、痔の痛み、自律神経不安定症、ストレスによる諸症状（睡眠障害、うつ状態など）、病後回復期、疲労回復、健康増進。
泉質別適応症	きりきず、末梢循環障害、冷え性、うつ状態、皮膚乾燥症。

【浴用の方法・注意】

温泉の浴用は、以下の事項を守って行う必要がある。

入浴前の注意	<ul style="list-style-type: none"> (7) 食事の直前、直後及び飲酒後の入浴は避けること。酩酊状態での入浴は特に避けること。 (4) 過度の疲労時には身体を休めること。 (9) 運動後30分程度の間は身体を休めること。 (5) 高齢者、子供及び身体の不自由な人は、1人での入浴は避けることが望ましいこと。 (8) 浴槽に入る前に、手足から掛け湯をして温度に慣らすとともに、身体を洗い流すこと。 (6) 入浴時、特に起床直後の入浴時などは脱水症状等にならないよう、あらかじめコップ一杯程度の水分を補給しておくこと。
入浴方法	<ul style="list-style-type: none"> (7) 入浴温度 高齢者、高血圧症若しくは心臓病の人又は脳卒中を経験した人は、42℃以上の高温浴は避けること。 (4) 入浴形態 心肺機能の低下している人は、全身浴よりも半身浴又は部分浴が望ましいこと。 (9) 入浴回数 入浴開始後数日間は、1日当たり1～2回とし、慣れてきたら2～3回まで増やしてもよいこと。 (5) 入浴時間 入浴温度により異なるが、1回当たり、初めは3～10分程度とし、慣れてきたら15～20分程度まで延長してもよいこと。
入浴中の注意	<ul style="list-style-type: none"> (7) 運動浴を除き、一般に手足を軽く動かす程度にして静かに入浴すること。 (4) 浴槽から出る時は、立ちくらみを起こさないようにゆっくり出ること。 (9) めまいが生じ、又は気分が不良となった時は、近くの人に助けを求めつつ、浴槽から頭を低い位置に保ってゆっくり出て、横になって回復を待つこと。
入浴後の注意	<ul style="list-style-type: none"> (7) 身体に付着した温泉成分を温水で洗い流さず、タオルで水分を拭き取り、着衣の上、保温及び30分程度の安静を心がけること（ただし、肌の弱い人は、刺激の強い泉質（例えば酸性泉や硫酸泉等）や必要に応じて塩素消毒等が行われている場合には、温泉成分等を温水で洗い流した方がよいこと）。 (4) 脱水症状等を避けるため、コップ一杯程度の水分を補給すること。
湯あたり	温泉療養開始後おおむね3日～1週間前後に、気分不快、不眠若しくは消化器症状等の湯あたり症状又は皮膚炎などが現れることがある。このような状態が現れている間は、入浴を中止するか、又は回数を減らし、このような状態からの回復を待つこと。
その他	浴槽水の清潔を保つため、浴槽にタオルは入れないこと。

(注) この別表は、温泉法第18条による掲示に必要な参考資料となるものである。

温泉分析書

(鉱泉分析試験による分析成績) 佐環検温第 2022-00025-01 号

令和 5 年 3 月 27 日

唐津市長

様

〒840-0033 佐賀県佐賀市光一町1番2号
一般財団法人 佐賀県環境科学検査協会
理事長 木原 孝文
TEL 0952-22-1651 FAX 0952-22-1655
温泉分析登録機関 佐賀県登録第1第0-0-02号

依頼されました試料の分析結果は、下記のとおりです。

1. 申請者	住 所	唐津市肥前町入野甲1703番地					
	氏 名	唐津市長					
2. 源泉	名 称	混合泉					
	湧出地	佐賀県唐津市肥前町田野甲1287番地10					
3. 湧出地における調査及び試験成績書							
調査及び試験者		一般財団法人 佐賀県環境科学検査協会				柿本 直仁	
調査及び試験年月日		令和 5 年 2 月 24 日 (天候)				曇	
泉温		28.7℃ (調査時の気温)				14.4℃	
*湧出量		—				揚水方法 動力揚湯	
知覚試験		無色澄明 無味 無臭		pH値	9.21		
ラドン (Rn)		—					
4. 試験室における試験成績							
試験者		一般財団法人 佐賀県環境科学検査協会				栗山 裕史	
知覚試験		澄明 無味 無臭		pH値	9.01	密度	0.9995 (20.0℃)
分析終了の年月日		令和 5 年 3 月 27 日		蒸発残留物	0.8374 g/kg (110℃)		
5. 試料1kg中の成分・分量及び組成							
陽イオン				陰イオン			
成分名	ミリグラム(mg)	ミリバール(mval)	ミリバール(mval%)	成分名	ミリグラム(mg)	ミリバール(mval)	ミリバール(mval%)
水素イオン(H ⁺)	—	—	—	フッ素イオン(F ⁻)	4.8	0.25	1.64
リチウムイオン(Li ⁺)	0.4	0.06	0.38	塩素イオン(Cl ⁻)	68.3	1.93	12.50
ナトリウムイオン(Na ⁺)	342.2	14.88	98.85	臭素イオン(Br ⁻)	0.2	0.00	0.02
カリウムイオン(K ⁺)	0.9	0.02	0.15	ヨウ素イオン(I ⁻)	0.0	0.00	0.00
アンモニウムイオン(NH ₄ ⁺)	0.0	0.00	0.00	亜硝酸イオン(NO ₂ ⁻)	0.0	0.00	0.00
マグネシウムイオン(Mg ²⁺)	0.3	0.02	0.16	硝酸イオン(NO ₃ ⁻)	0.5	0.01	0.05
カルシウムイオン(Ca ²⁺)	1.3	0.06	0.43	水酸イオン(OH ⁻)	0.0	0.00	0.00
ストロンチウムイオン(Sr ²⁺)	0.1	0.00	0.02	硫化水素イオン(HS ⁻)	—	—	—
バリウムイオン(Ba ²⁺)	0.0	0.00	0.00	硫酸イオン(SO ₄ ²⁻)	16.6	0.35	2.24
アルミニウムイオン(Al ³⁺)	0.0	0.00	0.00	りん酸水素イオン(HPO ₄ ²⁻)	0.2	0.00	0.03
マンガンイオン(Mn ²⁺)	0.0	0.00	0.00	炭酸水素イオン(HCO ₃ ⁻)	576.9	9.45	61.36
総鉄イオン	0.0	0.00	0.00	炭酸イオン(CO ₃ ²⁻)	96.1	3.20	20.78
銅イオン(Cu ²⁺)	0.0	0.00	0.00	メタけい酸イオン(HSiO ₃ ⁻)	—	—	—
亜鉛イオン(Zn ²⁺)	0.0	0.00	0.00	ほう酸イオン(BO ₂ ⁻)	9.1	0.21	1.38
—	—	—	—	チオ硫酸イオン(S ₂ O ₃ ²⁻)	0.0	0.00	0.00
—	—	—	—	メタ亜硫酸イオン(AsO ₂ ⁻)	0.0	0.00	0.00
陽イオン合計	345.2	15.06	99.99	陰イオン合計	772.7	15.41	100.00
遊離成分							
成分名	ミリグラム(mg)	ミリモル(mmol)	成分名	ミリグラム(mg)	ミリモル(mmol)		
メタけい酸(H ₂ SiO ₃)	15.9	0.20	遊離二酸化炭素(CO ₂) (遊離炭酸)	0.0	0.00		
メタほう酸(HBO ₂)	—	—	遊離硫化水素(H ₂ S)	—	—		
メタ亜硫酸(HAsO ₂)	—	—	—	—	—		
非解離成分合計	15.9	0.20	溶存ガス成分合計	0.0	0.00		
溶存物質 (ガス性のものを除く)			1.134g/kg	成分総合計		1.134g/kg	
その他微量物質							
総ヒ素 (T-As)		0.018 mg/kg	総水銀 (T-Hg)		検出せず		
鉛 (Pb)		検出せず	総クロム (T-Cr)		検出せず		
					カドミウム (Cd) 検出せず		
6. 泉質	ナトリウム-炭酸水素塩温泉 (低張性 アルカリ性 低温泉) (旧泉質名: 純重曹泉)						
7. 禁忌症・適応症等	温泉分析書別表に記載						

* 湧出量については、不明。

温泉分析書 別表(浴用) (注)

佐環検温第 2022-00025-01 号

源泉名	混合泉
湧水地	佐賀県唐津市肥前町田野甲1287番地10
源泉分析申請者	唐津市長
泉質	ナトリウム-炭酸水素塩温泉（低張性 アルカリ性 低温泉）（旧泉質名：純重曹泉）

分析結果による療養泉に基づく禁忌症・適応症等は環境省自然環境局長通知（平成26年7月1日）環自総発第1407012号によれば次のとおりである。

【浴用の禁忌症】

一般的禁忌症	病気の活動期（特に熱があるとき）、活動性の結核、進行した悪性腫瘍又は高度の貧血など身体衰弱の著しい場合、少し動くと息苦しくなるような重い心臓又は肺の病気、むくみのあるような重い腎臓の病気、消化管出血、目に見える出血があるとき、慢性の病気の急性増悪期。
泉質別禁忌症	

【浴用の適応症】

一般的適応症	筋肉若しくは関節の慢性的な痛み又はこわばり（関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、神経痛、五十肩、打撲、捻挫などの慢性期）、運動麻痺における筋肉のこわばり、冷え性、末梢循環障害、胃腸機能の低下（胃がもたれる、腸にガスがたまるなど）、怪症高血圧、耐糖能異常（糖尿病）、軽い高コレステロール血症、軽い喘息又は肺気腫、痔の痛み、自律神経不安定症、ストレスによる諸症状（睡眠障害、うつ状態など）、病後回復期、疲労回復、健康増進。
泉質別適応症	きりきず、末梢循環障害、冷え性、皮膚乾燥症。

【浴用の方法・注意】

温泉の浴用は、以下の事項を守って行う必要がある。

入浴前の注意	<ul style="list-style-type: none"> (ア) 食事の直前、直後及び飲酒後の入浴は避けること。酩酊状態での入浴は特に避けること。 (イ) 過度の疲労時には身体を休めること。 (ウ) 運動後30分程度の間は身体を休めること。 (エ) 高齢者、子供及び身体の不自由な人は、1人での入浴は避けることが望ましいこと。 (オ) 浴槽に入る前に、手足から掛け湯をして温度に慣らすとともに、身体を洗い流すこと。 (カ) 入浴時、特に起床直後の入浴時などは脱水症状等にならないよう、あらかじめコップ一杯程度の水分を補給しておくこと。
入浴方法	<ul style="list-style-type: none"> (ア) 入浴温度 高齢者、高血圧症若しくは心臓病の人又は脳卒中を経験した人は、42℃以上の高温浴は避けること。 (イ) 入浴形態 心肺機能の低下している人は、全身浴よりも半身浴又は部分浴が望ましいこと。 (ウ) 入浴回数 入浴開始後数日間、1日当たり1～2回とし、慣れてきたら2～3回まで増やしてもよいこと。 (エ) 入浴時間 入浴温度により異なるが、1回当たり、初めは3～10分程度とし、慣れてきたら15～20分程度まで延長してもよいこと。
入浴中の注意	<ul style="list-style-type: none"> (ア) 運動浴を除き、一般に手足を軽く動かす程度にして静かに入浴すること。 (イ) 浴槽から出る時は、立ちくらみを起こさないようにゆっくり出ること。 (ウ) めまいが生じ、又は気分が不良となった時は、近くの人に助けを求めつつ、浴槽から頭を低い位置に保ってゆっくり出て、横になって回復を待つこと。
入浴後の注意	<ul style="list-style-type: none"> (ア) 身体に付着した温泉成分を温水で洗い流さず、タオルで水分を拭き取り、着衣の上、保温及び30分程度の安静を心がけること（ただし、肌の弱い人は、刺激の強い泉質（例えば酸性泉や硫黄泉等）や必要に応じて塩素消毒等が行われている場合には、温泉成分等を温水で洗い流した方がよいこと）。 (イ) 脱水症状等を避けるため、コップ一杯程度の水分を補給すること。
湯あたり	温泉療養開始後おおむね3日～1週間前後に、気分不快、不眠若しくは消化器症状等の湯あたり症状又は皮膚炎などが現れることがある。このような状態が現れている間は、入浴を中止するか、又は回数を減らし、このような状態からの回復を待つこと。
その他	浴槽水の清潔を保つため、浴槽にタオルは入れないこと。

(注) この別表は、温泉法第18条による掲示に必要な参考資料となるものである。

温泉飲用利用分析書

佐環検温第 2022-00022-01 号

令和 5 年 3 月 27 日

唐津市長

様

〒840-0033 佐賀県佐賀市光一丁目1番2号
一般財団法人 佐賀県環境科学検査協会
理事長 木原 泰文
TEL 0952-22-1651 FAX 0952-22-1655
温泉分析登録機関 佐賀県登録41第0002号

依頼されました試料の分析結果は、下記のとおりです。

依頼者	住所	佐賀県唐津市肥前町入野甲1703番地			
	氏名	唐津市長			
湧出地	佐賀県唐津市肥前町田野甲1339番地4				
*湧出状況	50 t/日 動力揚湯	飲用場所	高串源泉 1 号		
泉温	30.6℃	源泉の名称	高串源泉 1 号		
採水年月日	令和 5 年 2 月 24 日	受付年月日	令和 5 年 2 月 24 日		
検査終了日	令和 5 年 3 月 16 日				
温泉飲用利用に関する試験室における試験成績					
飲用利用対象成分及び飲用許容量			微生物学的衛生管理項目及び基準値		
項目	結果	飲用許容量	項目	結果	基準
ひ素	検出せず	500 mL/1日	一般細菌	4個/mL	100個/mL
銅	0.1mg/kg未満	500 mL/1日	大腸菌群	陰性	検出されないこと
ふっ素	4.4mg/kg	360 mL/1日	全有機炭素	0.5mg/L未満	5mg/L
鉛	検出せず	500 mL/1日	その他		
水銀	検出せず	500 mL/1日	臭気	異常なし	異常でないこと
遊離炭酸 (遊離二酸化炭素)	0.1mg/kg未満	150 mL/1回	味	異常なし	異常でないこと
カドミウム	検出せず	—	色度	0.5度未満	異常でないこと
総クロム	検出せず	—	濁度	0.3度	異常でないこと
判定	温泉利用基準における微生物学的衛生管理の飲用利用基準に適合する。 なお、飲用許容量については、ふっ素を含有するため1日につき360mL以内とする。				

* 湧出状況については、肥前市民センター水田様から聴取したものを記載。

温泉分析書 別表(飲用) (注)

佐環検温第 2022-00022-01 号

源泉名	高串源泉1号
湧水地	佐賀県唐津市肥前町田野甲1339番地4
源泉分析申請者	唐津市長
泉質	ナトリウム-炭酸水素塩温泉 (低張性 アルカリ性 低温泉) (旧泉質名: 純重曹泉)

分析結果による療養泉に基づく禁忌症・適応症等は環境省自然環境局長通知(平成26年7月1日)環自総発第1407012号及び環境省自然環境局自然環境整備担当参事官通知(平成26年7月1日)環自総発第140712号によれば次のとおりである。

【飲用の禁忌症】

含有成分別禁忌症	
----------	--

【飲用の適応症】

泉質別適応症	
--------	--

【飲用上の注意】

飲用の方法及び注意

温泉は、ゆう出後、時間の経過とともに変化がみられるため、地中からゆう出した直後の新鮮な温泉が最も効用があるといわれているが、それぞれの泉質に適する用い方をしなければ、かえって身体に不利に作用する場合もあるので、温泉の飲用は、以下の事項を守って行う必要がある。なお、温泉を飲用に供する場合は、当該施設の設置者等は新鮮な温泉を用いるとともに、源泉及び飲泉施設について十分な公衆衛生上の配慮を行う必要がある。

- ア. 飲泉療養に際しては、専門的知識を有する医師の指導を受けること。また、服薬治療中の人は、主治医の意見を聴くこと。
- イ. 15歳以下の人については、原則的には飲用を避けること。ただし、専門的知識を有する医師の指導を受ける飲泉については例外とすること。
- ウ. 飲泉は決められた場所で、源泉を直接引いた新鮮な温泉を飲用すること。
- エ. 温泉飲用の1回の量は一般に100～150mL程度とし、その1日の総量はおおよそ200～500mLまでとすること。

(注)

1. 温泉にひ素、銅、ふっ素、鉛及び水銀並びに遊離炭酸が含まれる場合は、この記載に加えて、別に定める方法により飲用量を示すこととする。
2. 温泉がpH3未満である場合(希釈が行われ、飲用に供する温泉がpH3以上になっている場合を除く。)は、この記載に代えて、例えば「この温泉の液性は酸性であるため、真水でpH3以上となるようおおよそA倍に薄めた上で、飲用の1回の量は100mLまでとし、その1日の総量はおおよそ200～500mLまでとすること。」とする。なお、Aの数値は、pHにより異なるため、pH3以上となるように具体的希釈倍数を算出して記載すること。

オ. 飲泉には、自身専用又は使い捨てのコップなど衛生的なものを用いること。

カ. 飲泉は一般に食事の30分程度前に行うことが望ましいこと。

キ. 飲泉場から飲用目的で温泉水を持ち帰らないこと。

ク. 飲用する際には、誤嚥に注意すること。

(注) 誤嚥とは、うがいや焦って飲むことなどにより、肺や気管に水分を吸い込んでしまうことをいう。なお、嚥下障害を発症している人は飲泉を行わないこと。

(注) この表は、温泉法第18条による掲示に必要な参考資料となるものである。